

9.18 [土]—24 [金]

1週間限定

横浜シネマリン

『父子草』 ©1967 東宝



『男はつらいよ 純情篇』  
©1971松竹株式会社

# 渥美清の 喜劇役者

没後25年特集上映

ご存知!寅さんと  
知られざる傑作

# プラス 浪曲

# の三つの顔!!



『男はつらいよ寅次郎又焼酎小焼酎』  
浪曲師 玉川太福  
曲師 玉川みね子



『ブワナ・トシの歌』 ©1965 東宝

主催：横浜シネマネットワーク実行委員会  
助成：横浜市地域文化サポート事業・  
ヨコハマアートサイト2021  
ヨコハマアートサイト

[横浜シネマネットワークとは?]

横浜で映画上映や映画に係わる活動を行っている人ならどなたでもご参加いただけます。メンバー同士の情報交換と研究報告、そして交流の場づくりやネットワークづくり、そのネットワークを活かしたイベント実施や情報発信などを行っています。ネットワーク全体で、横浜の映画文化を盛り立てて行こうと活動を続けています。

# 喜劇役者 渥美清の 三つの顔 浪曲



## 父子草

1967年/モノクロ/シネマスコープ/85分/35ミリ/配給：東宝  
 監督：丸山誠治 脚本：木下恵介  
 出演：渥美清、星由里子、石立鉄男、淡路恵子

ガード下におでん屋を出している竹子(星由里子)は、初老に近い土工風の男平井義太郎(渥美清)の、どこか淋し気味で、鼻っぺしらの強い、気っ骨のよさに興味を持っていた。或る日、常連の若い客、西村茂(石立鉄男)と義太郎は、些細なことから喧嘩になったが、若い西村に敵うはずはなかった。それから、毎晩、西村に相撲で挑戦する義太郎だったが…。  
 テレビドラマ『泣いてたまるか』を見た、木下恵介監督が渥美清のために企画した知られざる作品。

©1967 東宝



## ブワナ・トシの歌

1965年/カラー/スタンダード/99分/35ミリ/配給：東宝  
 原作：片寄俊秀 監督：羽仁進 脚本：羽仁進、清水邦夫 音楽：武満徹  
 出演：渥美清、下元勉

建築技師の大岡俊男(渥美清)は東アフリカのタンガニカに学術調査用に地質学者が住むためのプレハブハウスを建てることになっていたが、現地地で待っているはずの先輩技師は置き手紙を残してその場を去っていた。俊男は仕方なく、現地の青年たちを集めて作業を始めるが…。  
 文化の違いに悩みながらもその障害を乗り越え地元民と打ち解けていく渥美清の姿は必見。別れの時に流れる『ブワナ・トシの歌』に胸が熱くなる。アフリカに魅了されるきっかけとなった人間・渥美清と俳優・渥美清の両方の顔を見ることができるといえるヒューマンドラマの傑作。

©1965 東宝



## 男はつらいよ 純情篇

1971年/カラー/シネマスコープ/89分/35ミリ/配給：松竹  
 監督：山田洋次 脚本：山田洋次、宮崎晃 音楽：山本直純  
 出演：渥美清、若尾文子、倍賞千恵子、宮本信子、森繁久彌、笠智衆

赤ちゃんを連れた若い女・絹代(宮本信子)に、さくらの面影を見て、一夜の宿を世話する寅さん。情にほだされ、寅さんは絹代と共に、彼女の父・千造(森繁久彌)の住む、五島列島の福江島へ。望郷の念にかられた寅さんが柴又へ帰ると、つねの遠縁にあたる、美しき人妻・明石夕子(若尾文子)が、夫と別居して二階に間借りをしていた。  
 ラスト近く柴又駅でのあいつもうとの別れの場面はシリーズ屈指の名シーン。後に二代目おいちゃんを演じる松村達雄や宮本信子、森繁久彌が登場する。また、横浜市の成田山でロケされた作品でもある。

©1971 松竹株式会社



film: KIYOSHI ATSUMI

**『寅次郎夕焼け小焼け』を 横浜初公演!!**  
 寅さんと宇野重吉が演じたインテリ画家の友情、そして太地喜和子が演じた兵庫県龍野の芸者ばたんととの恋のゆくえんはいいか!? 玉川太福さんが40分の浪曲にして公演します!どうぞお楽しみに!



### 浪曲師 玉川太福

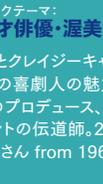
2007年3月、二代目玉川福太郎に入門。2013年10月、木馬亭にて襲名披露興行。年間50公演を超える独演会に加えて、浪曲・落語の定席にも出演。古典演目を継承する一方、自作の「地べたの二人」シリーズや映画『男はつらいよ』浪曲化など、幅広い活動を展開している。2017年第72回文化庁芸術祭・大衆芸能部門新人賞受賞。



### 曲師 玉川みね子

1975年、二代目玉川福太郎との結婚を機に、翌年に曲師・山本太一に師事。以降、夫・福太郎の相三味線を長年にわたってつとめる。現在では、ベテランから一門の弟子まで、様々な演者の曲師をつとめ、テレビ・ラジオなどメディア出演も多数。後進の育成も積極的に行なっている。

**佐藤利明**  
 トークテーマ：天才俳優・渥美清の"寅さん"前夜  
 娯楽映画研究家。ハナ肇とクレイジーキャッツ、『男はつらいよ』、エンゲル・ロッパなどの昭和の喜劇人の魅力や、新聞連載やコラム、CDアルバム、映像ソフトのプロデュース、テレビ・ラジオを通して紹介を続けるエンタテインメントの伝道師。2015年文化放送特別賞受賞。近著に『みんなの寅さん from 1969』。



**高崎俊夫**  
 トークテーマ：渥美清と羽仁進、アフリカとの出会い  
 映画評論家。『月刊イメージフォーラム』の編集部を経て、フリーランスの編集者に。『キネマ旬報』『サンデー毎日』『ジャズ批評』に執筆している。これまで手がけた単行本は『ロバート・アルトマン わが映画、わが人生』『オペラとシネマの誘惑』など多数。著書に『祝祭の日々 私の映画アトラダム』がある。



9/18(土) 15:00-16:30 父子草 16:30-17:15 ★トーク 佐藤利明	19(日) 15:00-16:30 父子草	20(月・祝) 15:00-16:45 ブワナ・トシの歌 16:45-17:15 ★トーク 高崎俊夫	21(火) 15:00-16:45 ブワナ・トシの歌	22(水) 15:00-16:30 父子草	23(木・祝) 15:00-16:45 ブワナ・トシの歌	24(金) 18:00-19:30 男はつらいよ 純情篇 19:40-20:20 ★浪曲 玉川太福
---	-----------------------------	--	----------------------------------	-----------------------------	------------------------------------	---

## 9.18 [土]~24 [金] 限定ロードショー!

**前売券** 浪曲付き上映座席指定券：2,800円(税込)  
 横浜シネマリン受付、オンラインショップhttps://cinemarine.shop-pro.jp/にて(8月中より9/17(金)まで販売!)  
 その他の上映1回券：1,000円(税込)  
 横浜シネマリンおよびシネマ・ジャック&ベティ、有隣堂本店にて9/17(金)まで販売!  
 ※その他の上映1回券は、ネット販売ではご利用いただけません。

**当日券** 浪曲付き上映：一律2,800円 ※映画のみのチケットはございません。  
 その他の上映：一般・大専1,300円/シニア・高校生以下1,100円

★浪曲付き上映、その他の上映ともに3日前より横浜シネマリンWebサイト、受付にて座席指定券をご購入いただけます!

各回入れ替え制・全席指定

**横浜シネマリン**  
 R16長者町5丁目交差点沿  
 045-341-3180  
 www.cinemarine.co.jp

JR根岸線：関内駅 徒歩5分  
 横浜市営地下鉄：伊勢佐木長者町駅 徒歩2分  
 京浜急行：日ノ出町駅 徒歩5分

横浜シネマリンの地図と周辺施設情報。

**横浜の文化の多様性に貢献するミニシアター**  
 映画の街・横浜では14の映画館で連日たくさんの映画が上映されていますが、ハリウッドの大作や日本の話題作を中心に上映するシネコンに対して、ミニシアターでは、インディペンデントの日本映画や世界の様々な国の映画が上映されています。また、独自の視点の特集上映や、未来を担う子ども向けのワークショップなどが展開されているのも魅力の一つです。横浜市の芸術文化の発展と多文化共生の礎を担うミニシアターをぜひ応援してください。

**ミニシアターの独自上映作品**

横浜シネマリン	49本
シネマ・ジャック&ベティ	29本
シネマノヴェテント	21本
kino cinéma横浜みなとみらい	12本

さまざまな国の作品が楽しめます!

※2021年6/19~7/9上映で集計。調査：横浜シネマネットワーク